

「国債の決済期間の短縮化に関する検討ワーキング・グループ」（第 28 回）議事要旨

- 【日 時】 平成 25 年 6 月 14 日（金）午後 4 時 ～ 午後 4 時 30 分
- 【場 所】 日本証券業協会 第 1 会議室
- 【出 席 者】 吉田主査ほか各委員
- 【議 題】 1. 担保後決め方式 G C レポ取引手法検討会の検討状況について
2. 担保管理インフラ検討会の検討状況について
3. その他

【議事概要】

1. 担保後決め方式 G C レポ取引手法検討会の検討状況について
- 吉田主査より、資料 1「担保後決め方式 G C レポ取引手法検討会（フロント検討会）の検討状況」に基づき、大要以下のとおり説明・報告が行われた。委員からは特段の意見はなかった。
- ・ 本検討会の下に、「リーガル検討タスクフォース」（以下「TF」という。）を設置し、担保後決め方式による G C レポ（T + O）取引スキームの法的論点について、優先的に検討（4 回開催）を行った。TF では、米国のトライパーティ・レポ契約を参考にした取引スキーム案を策定し、検討を重ねた結果、私法上（契約面）で大きな課題はないとみられることが確認された。
 - ・ 第 27 回WG以降、検討会を 2 回開催し、TF 及び担保管理インフラ検討会における検討状況等の報告が行われた。これを受け、検討会では、取引スキーム案の契約構成を中心とした実務的な検討を進めるとともに、担保管理インフラ検討会における論点についても、フロント面からのニーズを踏まえ、検討を進めることとする。
2. 担保管理インフラ検討会の検討状況について
- 吉越副主査より、資料 2「担保管理インフラ検討会（バック検討会）の検討状況」に基づき、大要以下のとおり説明・報告が行われた。委員からは特段の意見はなかった。
- ・ 第 27 回WG以降、検討会を 3 回開催し、担保管理インフラによる担保割当銘柄の取得方法及び約定照合プロセスについて検討を行った。
 - ・ 現在、検討会メンバーに、上記 2 点の論点についてアンケートを実施しているところである。今後は、その回答結果を踏まえ現状の論点等の整理を行うとともに、各業態の特性等を勘案しながら、引き続き検討を進めることとする。
 - ・ 併せて、TF における契約構成の検討結果を踏まえつつ、検討を進めることとする。

3. その他

○ 日本証券業協会より、資料3「グランドデザインの検討における外部コンサルティング・ファームの活用」に基づき、外部コンサルティング・ファームの選定の経緯や結果等について、以下のとおり報告が行われた。意見交換の後、委託先に決定した(株)野村総合研究所より、スケジュール等について説明が行われた。

- ・ 第26回WGにおける外部コンサルティング・ファームの活用に係る日本証券業協会（以下「日証協」という。）への協力要請を受け、日証協が、外部コンサルティング・ファームの公募を実施したところ、3社から応募があった。
- ・ 日証協及びWG事務局を中心に、応募資料や面談等に基づき選考を実施した結果、委託先を(株)野村総合研究所に決定した。

（主な意見）

- ・ コンサルティング・ファーム決定に係る選定の経緯等を教えてほしい。
→ 外部コンサルティング・ファームの選定は、公募資料の選定基準を基に、①証券決済制度に関する業務知識やノウハウ、国債決済期間短縮化に関する理解度、コンサルタントの能力、経歴及び実績、②独立性や中立性及び経営状態、③コンサルティングの依頼内容等の理解度、手法や実行プロセスの適正性、及びヒアリング先等のマッピングやスコープ設定の妥当性、④スケジュール設定の妥当性及び⑤コンサルティング体制や費用の妥当性等について、複数回に亘りヒアリング等を重ね、最終的な決定に至った。

○ 吉田主査より、今後の進め方等について、以下のとおり説明が行われた。

- ・ 7月以降は、グランドデザインの策定に向け実態把握に基づく分析等を的確に行うため、コンサルティング・ファームが幅広い市場参加者に対し、ヒアリングやアンケートを実施していくことになるので、その際は是非協力してほしい。
- ・ 現在実施しているアンケートの回答結果を踏まえ、現状における課題や論点を整理し検討会を開催することとしたい。
- ・ 次回WGの日程は未定であるが、検討会の進捗状況を確認しながら開催することとしたい。

以 上